

差出人： メールニュース／b-active 株式会社
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.035–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望される方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願いいたします。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

今回は、コロナ禍での政府の「助成金や協力金に関して」一緒に考えていきたいと思いますので、ぜひご意見も☞でお寄せ下されば幸いです。

年始に2度目の緊急事態宣言が発令され、時短要請に応じた飲食店に対する協力金最大1ヵ月180万円を設定。「多くの事業者が厳しい経営状況にある」との菅首相の発言は事実ですが、本当にそれで良いのでしょうか？

お酒を提供する「お店」が悪いのか？それとも自粛できずにお店を利用する「お客」が悪いのか？そもそも飲食店に足を運ぶ機会となる職場出勤させる「企業」が悪いのか？やはり職場の同僚との仕事帰りの一杯が「働くルーティン」なのか？

慣れ親しんだ働き方がしみ込んでいるベテラン社員ほど、「テレワーク」などの変化への適応が難しいようです。日経の世論調査では「在宅勤務を定着させるべきか？」に、10～30代：76%、40～50代：60%、60代以上：42%。

よく「昭和の働き方」として言われていることが、「毎朝同じ電車の同じ車両に乗り、自分の席で仕事をし、同じ仲間と同じお店で軽く一杯、会社の文句や健康面など同じような話題で過ごし、同じ車両に乗って帰る生活」だそうです。

しかしながら、コロナ禍によって、否応なく人々の働き方に大きな変化が要求されており、ヤングからシニアまで働く個人一人ひとりの価値観、「働きがい」が揺さぶられて、立ち止まって見つめ直す機会が今まさに必要とされていますよね。

変化といえば、一昔前までは駅の改札口には「切符切り」の方が働いていました。目的地までの切符を自販機で買って、改札でパチンと切ってもらい目的地の改札で係りの方に手渡しし、キセルではないかを確認される。懐かしいですね。

それから「自動改札機」が登場し、切符は買うが切符入れ口に入れるとグルグルと機会の中を回って出てくる。更にスイカが登場し、切符を買う必要もなくカードタッチのみで本当に便利な時代に。そして改札係りの方はいなくなりました。

また、自動運転の技術がものすごいスピードで開発され、安全性の向上、事故の減少という素晴らしい世界に向かっていきます。突然の交通事故で大切な人を失う悲しみや、事故を起こした方の心の傷が減ることは素晴らしい技術です。

一方で、先ほどの改札口の切符切り係りの方たちと同様に、自動運転という新たな技術によって職を失う人も考えられますよね。「運転手さん」「タクシーやバスの交通機関」「修理工場」「免許証関係」?…。時代が産業構造を変化させます。

それは同時に、自動改札やスイカ、自動運転などの新しい技術を開発し運用していくことに関連する新しい役割や仕事が誕生し、働く人々はそちらに移動して行くことが求められます。昭和から平成、令和の産業構造変化を見れば一目瞭然ですよ。

さて本題に戻りますが、「新型コロナウイルスとの共存」という現実の元では人材の流動化が求められ、更に加速する必要性に迫られていると思いますが、みなさまはいかがでしょう。(次回に続きます。)

——— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ———

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6時間）は **3月7日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6時間）は **3月13日（土）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6時間）は **3月14日（日）**

を開催します。お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 www.b-active.co

Copyright© 2020 b-active Inc.